

あしべつ

# 社協だより

第 116 号

令和 3 年 3 月 1 日発行

コロナ禍にも「つながりをたやさない社会づくり」を



コロナ禍により様々な制限がある中、令和 2 年 10 月 1 日～10 日まで街頭募金運動が行われ、21 団体 131 名の方にご協力をいただき、263,878 円の募金をお寄せいただきました。募金のうち約 3 割は全道各地の福祉事業に活用され、残り約 7 割は市内の福祉団体等の活動支援として助成されます。(詳細は 2～3 頁をご参照ください。)



## 社会福祉法人 芦別市社会福祉協議会

〒075-0011 芦別市北 1 条東 1 丁目 8 番地 芦別市総合福祉センター  
TEL (0124) 22-2194 FAX (0124) 22-5466  
E-MAIL [ashi-sya@indigo.plala.or.jp](mailto:ashi-sya@indigo.plala.or.jp) (社会福祉協議会事務局)  
[kaigo-go@zpost.plala.or.jp](mailto:kaigo-go@zpost.plala.or.jp) (訪問介護ステーション)

この社協だよりは、赤い羽根共同募金の助成金によって発行しています。



# 令和2年度 赤い羽根共同募金実績

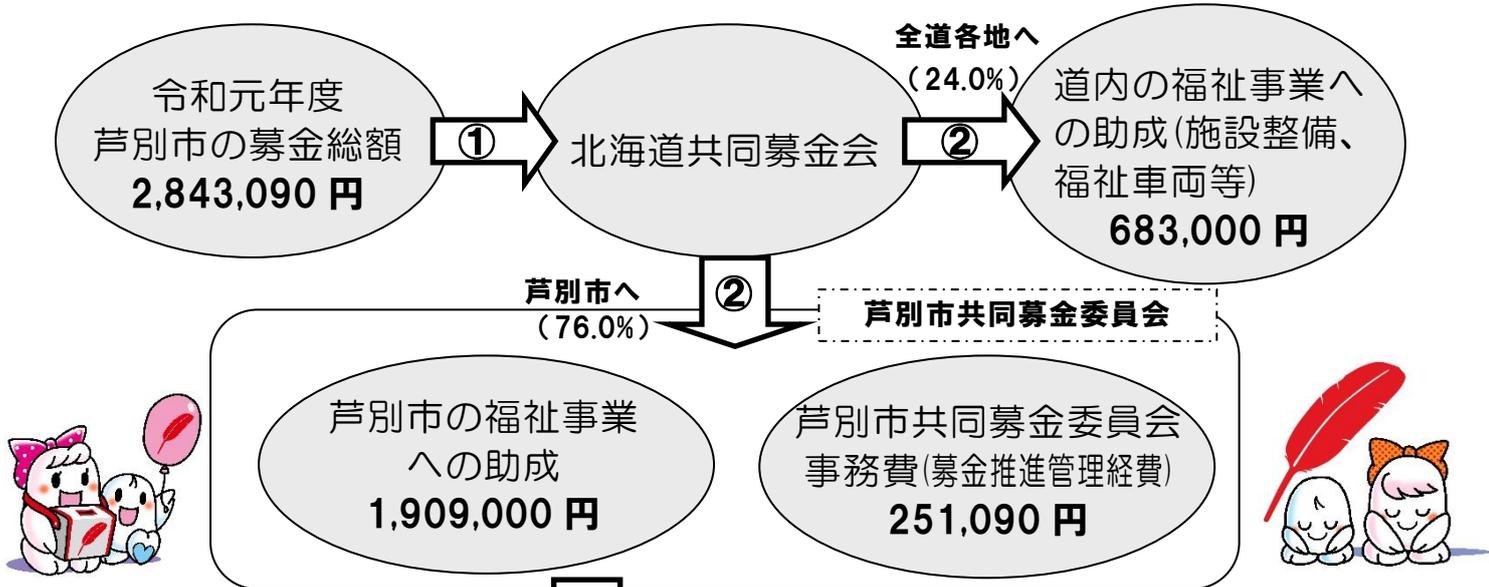
(実施期間：令和2年10月1日～12月31日)

戸別募金  
1,662,700円  
大口募金  
(個人大口・法人大口)  
544,000円

令和2年度の募金総額  
**2,766,679** 円  
※この募金は令和3年度に助成されます。

街頭募金  
263,878円  
特殊募金  
296,101円

令和元年度の募金は下記の流れで助成されました。(令和2年度に助成)



【各事業への助成内訳】

高齢者のために 460,000円	障がい児・者のために 490,000円	児童・青少年のために 210,000円
ボランティア支援のために 344,000円	更生保護活動のために 75,000円	広報発行のために 330,000円

## 赤い羽根共同募金助成団体 活動の一コマ



声のボランティアかりんとう  
「朗読の集い」



子育てサロン  
「夕涼み会」



芦別市身体障害者福祉協会  
「一日研修大会」

# 令和2年度 歳末たすけあい募金実績

(実施期間：令和2年11月1日～12月31日)

戸別募金  
979,700円  
大口募金  
(個人大口・法人大口)  
503,000円

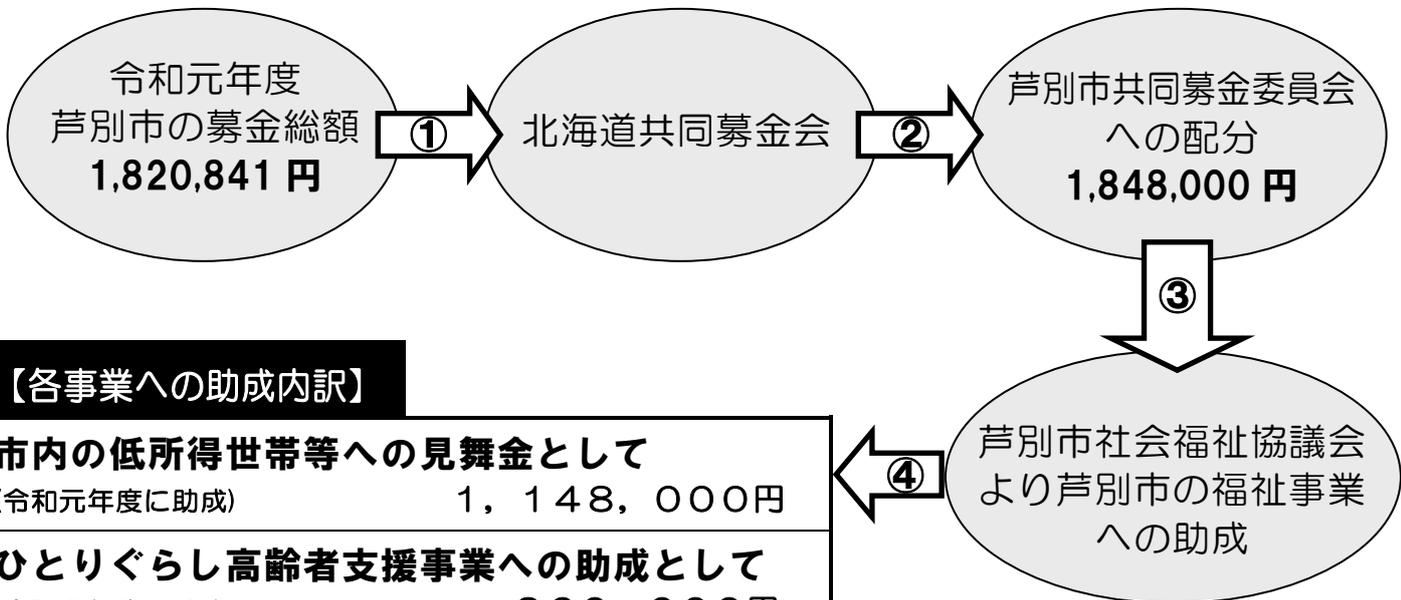
令和2年度の募金総額

**1,651,569** 円

※この募金は令和2年度及び  
令和3年度に助成されます。

特殊募金  
168,869円

令和元年度の募金は下記の流れで助成されました。  
(令和元年度及び令和2年度に助成)



## 【各事業への助成内訳】

市内の低所得世帯等への見舞金として  
(令和元年度に助成) 1,148,000円

ひとりぐらし高齢者支援事業への助成として  
(令和2年度に助成) 360,000円

福祉施設・福祉団体への助成として  
(令和2年度に助成) 340,000円



## 歳末たすけあい募金助成団体 活動の一コマ



市内18の単位町内会  
「ひとりぐらし高齢者支援事業」



芦別市遺族会  
「研修会及び新年交礼会」



芦別市手をつなぐ育成会  
「クリスマス集会」

# 生活支援おもいやりサポーター養成講座 開催報告

令和2年9月11日、18日

生活支援体制整備事業における生活支援サービスの担い手となる“生活支援おもいやりサポーター”を養成する講座が開催されました。

講座では福祉やりハビリの専門職からサービスを行う上で必要となる知識について学んだほか実際に活動を行うサポーターからの実践報告を聞き、生活支援おもいやりサポーターとしての第一歩を踏み出しました。



## 生活支援サービスとは？

要支援 1・2 およびチェックリスト該当の高齢者を対象として、日常生活におけるちょっとした困りごとを生活支援おもいやりサポーター(有償ボランティア)がお手伝いするサービスです。

生活支援サービスの利用を希望される方は芦別市地域包括支援センター(☎27-7705)または芦別市社会福祉協議会(☎22-2369)までお問い合わせください。

### 【サービスの内容】

- ①話し相手 ②掃除 ③洗濯 ④調理
- ⑤買い物 ⑥ゴミ出し ⑦外出及び通院の付き添い

【サービス利用料】 30分 200円 60分 400円

※60分以後 30分ごとに 200円ずつ加算されます。

※外出時(買い物、外出、通院の付き添い)の交通費は別途ご負担いただきます。



## ふまねっと運動フォローアップ研修会

令和2年10月5日(月)

歩行機能と認知機能を向上させることを目的とした運動学習プログラム「ふまねっと」の指導者を対象に、ふまねっと運動の基本を再確認して正しく指導する技術を学ぶ研修会が開催されました。

芦別市内でふまねっとサポーターとして活動する医療福祉関係者や地域のボランティア等15名の方が参加し、教室の進め方について学んだ後、実際にサポーター役と教室参加者役に分かれ演習を行いました。



# 反射マスクで感染予防と事故防止！！

令和2年12月1日

芦別交通安全協会から芦別市老人クラブ連合会へ、高輝度反射布が縫製された「反射マスク」80枚が贈呈されました。

このマスクは反射材として車のライトが当たるとマスク部分が反射し、マスク着用者の存在をドライバーに伝えることができます。

贈呈式では芦別交通安全協会 斎木修二会長から芦別市老人クラブ連合会 根本修身会長へ反射マスクが手渡され、交通事故防止と新型コロナウイルス感染予防を誓いました。



反射前



反射後

## 生活福祉資金(緊急小口資金)特例貸付のご案内

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等で収入が減少した世帯へ生活資金の貸付を行っています。

<p>緊急小口資金 (特例)</p>	<p>■貸付対象 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯。</p> <p>■貸付限度額 1世帯につき1回限り10万円以内 (4人以上世帯、個人事業主等要件を満たす場合20万円以内)</p>
<p>総合支援資金 (特例)</p>	<p>■貸付対象 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯。</p> <p>■貸付限度額 単身世帯：月15万円以内      2人以上：月20万円以内</p> <p>■貸付期間 原則3か月</p> <p>■据置期間 貸付の日から1年以内</p> <p>■償還期間 据置期間終了後10年以内</p> <p>■貸付利子 無利子</p>

※償還時になお所得の減少が続く住民税非課税世帯を対象として償還免除の特例あり。  
 ※相談・申込の際は担当者が不在の場合もございますので事前にお電話でご連絡いただけますようお願い申し上げます。

※上記特例貸付は令和3年3月末まで受け付けます。

●お問い合わせ●

社会福祉法人芦別市社会福祉協議会

電話 22-2194 (※土日祝日除く 8:30~17:15)

## 芦別市社会福祉協議会は

# 会員の皆さまに支えていただいております

日頃、社会福祉協議会の事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

社会福祉協議会の事業は、皆様方からお寄せいただいた会費等により地域福祉の推進に努めております。本会の趣旨にご賛同いただいた方に対しまして厚くお礼申し上げます。



令和2年7月9日～令和3年2月3日（敬称略）

第2号会員(1,000円)		1口	中川 隆弘	45口	芦別市役所ミズナラ会	1口	(有) タカセ
1口	荒木 美記		中川 隆二	第4号会員(3,000円)			(有)ダスキン華泉
	池田 養江		長沢 友夫	1口	(有)インテリアはやし		だるま家
	(有)一力商店		西村 栄一		(有)おかもとデンキ		地原 雄次
	伊藤 利恵		半場 環		(有)草別隆正堂		トヤマ化粧品店
	大友 康子		平井 宣行		翎デザインアートシステム		白間急便運送
	梶沼 育子		星 裕文		聚 楽		(有)はしうら服装店
	門脇 靖典		水尾 誠二		(株)定田印刷所		(有)花季
	木曾 翔平		山崎 昌子		(有)瀬戸仏具店		ホドス石油(株)
	北橋 のり子		匿名		セントラル旅行サービス(株)		本誓寺
	小杉山 侑真	2口	武市 輝雄		空知交通(株)		増田商店
	櫻田 由紀子	3口	大橋 智		大心寺		マツヤデンキ芦別店
	辻内 道代	5口	竹原 司		(有)高砂燃料		都会館
	霍田 登志子	10口	匿名		(有)高島屋		(有)吉川商事

## 愛情銀行へのあたたかい善意ありがとうございます

令和2年7月9日～令和3年2月3日

物品	氏名	摘要
	北海道コカ・コーラボトリング(株) 滝川営業課 様	清涼飲料水(372本)

# 北海道コカ・コーラボトリング(株)様より寄贈いただいた清涼飲料水を市内福祉施設等へ贈呈いたしました。



令和2年12月8日(火)

北海道コカ・コーラボトリング(株)滝川営業課様よりコカ・コーラ社製清涼飲料水372本の寄贈をいただきました。

北海道コカ・コーラボトリング(株)様は社会貢献活動の一環として、クリスマス時期に合わせ北海道内の社会福祉施設等へ昭和43年から製品を寄贈されており、今回で53回目となります。

贈呈された清涼飲料水は芦別市社会福祉協議会を通じ市内の福祉施設・団体へ贈呈いたしました。

令和2年12月16日(水)～17日(木)

北海道コカ・コーラボトリング(株)滝川営業課様より寄贈いただいたコカ・コーラ社製清涼飲料水を市内の福祉施設や団体等に贈呈いたしました。贈呈を受けた施設・団体の方は大変喜ばれていました。

## 贈呈の様子



## 芦別市社会福祉協議会 訪問介護ステーション 「パートヘルパー」 募集しています！！

業 務 内 容	訪問介護サービス（ご利用者宅を訪問し、自立に向けて必要な家事援助や身体介護を行います。）
資 格 要 件	①介護福祉士またはヘルパー2級以上（介護職員初任者研修・介護職員実務者研修）の資格を有するかた ②普通自動車免許を有するかた
雇 用 期 間	採用日から令和3年3月31日（更新あり）
勤 務 時 間	週20時間程度（試用期間2週間あり） ※週の労働時間は応相談
賃 金 等	①時間給 1,070円～1,100円（試用期間912円） ②処遇改善特別手当（年3回支給） ③資格（介護福祉士）手当あり ④個人自動車借上げ制度あり ⑤制服貸与 ⑥有給休暇あり
社 会 保 険	雇用保険、労災保険
提 出 書 類	履歴書（市販）及び資格証明書の写し
申 込 期 限	随時
申 込 ・ 詳 細	社会福祉法人芦別市社会福祉協議会 総務係 （〒075-0011 芦別市北1条東1丁目8番地） ☎22-2194

### 編 集 後 記

今年開催予定の東京オリンピックに45年ぶりに出場する男子バスケットボール日本代表。以前は体格やパワーの差により日本人には不向きなスポーツと言われていましたが、今ではアメリカやオーストラリアのトップリーグや大学で活躍する日本人選手がいるように、世界との差も少しずつ縮まってきています。バスケット好きとしては東京オリンピックでの「日本版ドリームチーム」の戦いを何としても観たいと願っています。

コロナ禍による様々な問題により現状では開催が不透明な状況ではありますが無事に開催できることを願う今日この頃です。

(K)



希望されるかたは社会福祉協議会までお申し出ください。

この贈呈事業は愛情銀行への寄付金を財源に行っているものです。

杖を贈呈しています。

社会福祉協議会では足や腰が不自由なために杖を必要としている65歳以上のかたへ杖を贈呈しています。

**65歳以上のかたへ  
杖を贈呈しています。**